

令和7年度についての 学校自己点検・評価報告書

自己点検・評価委員

委員長	高野 庸夫（校長）
副委員長	坂本 健司（理事長）
委員	深野 敦史（教務部長）
委員	大木 健一（教務部長代理）
委員	杉浦 真一（総務課長）

令和8年7月1日
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校

1.教育理念・目的・育成人材像等		達成度	前年度参考
評価項目	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	達成	達成
	1-2 学校の特色はなにか	達成	達成
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	達成	達成
1-1「個人の適性に合致する、各専門分野の技能・技術を習得する」と学則に定め、学生便覧に「人間力と専門知識を身に付けた人材の育成を目指す」と記述して周知している。 1-2 開校以来、少人数制で丁寧な教育を行っており、人間力の育成と資格取得、就職に向けて最大限取り組んでいる。また企業との連携やインターンシップを通じて専門性の向上に取り組んでいる。令和7年度は、希望する学生を対象に、通常授業の範囲を超えた教育コンテンツ（「ビジネス数学」「eduleap」等）を提供する Saisen アドバンストコース（有償）を開講することができた。 1-3 学校の将来構想は、日々変化する業界のニーズに応える人材を育成することである。そのため最新技術の提供やコースの改編を行っている。令和6年度より、AI 教育アプリ（記憶定着アプリ「Monoxer」）を授業に導入し、令和7年度も活用範囲を拡充した。AI が判断して学生ひとりひとりに適した問題を適切なタイミングで出題、記憶の定着を図ることができる。本校では「教育×AI」をテーマとして、魅力的で特徴ある教育を推進したい。また、グローバル化に対して留学生の受け入れをしている。			
2.学校運営		達成度	前年度参考
評価項目	2-4 運営方針は定められているか	達成	達成
	2-5 事業計画は定められているか	達成	達成
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	達成	達成
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	達成	達成
	2-8 意思決定システムは確立されているか	達成	達成
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	達成	達成

2-4 年度当初、理事長、校長により運営方針が訓示され、これに基づいて学校運営を実施している。

2-5 理事長、校長により事業の検討を実施し、事業計画を定めている。

2-6 過去の実績と反省点及び今後の運営方針を踏まえ毎年、組織構成図、職務分掌を作成し、教職員に徹底し効率的に機能させている。

2-7 賃金は「給与規定」に基づいている。人事考査は授業、学生指導、資格取得、就職及び業務遂行能力などを総合的に判断して行っている。

2-8 重要事項は評議員会の審議を経て、理事会で決定している。日常業務については、各担当から管理職にあげられ、重要度に応じて課長、部長代理、部長、校長、理事長が決定している。

2-9 募集、入学、在籍、成績、就職の一連のシステムが稼働し、業務の効率化を図ることができている。また、学生と学校とのコミュニケーションツールとしてかねてより「Microsoft365」を利用しているが、令和6年度よりその活用を拡大した（欠席連絡、就職サポート、小テストの実施等）。募集についてはホームページの分析システムを導入し積極的に活用している。なお、セキュリティは、ファイアウォール及びウィルス対策ソフトの導入はすでに実施している。

3.教育活動		達成度	前年度参考
評価項目	3-10 各教科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか	達成	達成
	3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構築する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	達成	達成
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	達成	達成
	3-13 学科の各教科は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	達成	達成
	3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	達成	達成
	3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	達成	達成
	3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	達成	達成
	3-17 資格取得の指導体制はあるか	達成	達成
3-10 過去蓄積してきたものと、業界のニーズを随時把握し、これにもとづいて教育目標、育成人材像を決定している。また、教育課程編成委員会において、業界が必要とする技術・技能を反映した教育についての意見を伺い、教育課程に反映している。令和7年度においても、教育課程編成委員と教員とが直接に意見交換する学科毎の分科会を開催し、新たな意見を伺うことができた。また、病院関係者による講演（医療事務科2年生対象）を実施した。			
3-11 各学科において、業界のニーズを検討し、これまでの経験を踏まえて、2年間で習得できる授業内容や資格を決定している。また、就職に有利な内容としている。			
3-12 毎年、12月に実施している、次年度教育課程編成審議会において、年度の反省を踏まえ、検討を行いカリキュラム編成している。			

3-13 毎年、12月に実施している、次年度カリキュラム審議で適正な教科を設定している。

3-14 学生による授業評価は、教員レベルで授業内容のアンケートを実施している。これにもとづき授業内容を改善している。

3-15 常勤、非常勤ともに、授業に必要な技能や資格の取得を義務づけている。現在、十分な教員を確保している。教務部行動指針のひとつに「常に新しい学びを」探求することを挙げている。

3-16 成績評価・単位認定の基準は定めている。また、学生便覧に記載されており、適時担任が学生に周知している。令和6年度より、学習評価方法を変更した。具体的には、期末試験の廃止、単元テストや課題提出による随時評価を実施。令和7年度よりクラス担任制を導入し、学生に対してこまめにフィードバックを行い、今まで以上に学生に寄り添った指導を行っている。

3-17 各教科の多くは資格に対応している。さらに、試験日が近づくと、集中的に対策授業を実施している。また、能力に応じた編成も行っている。資格取得状況についての把握と対策を講じるため、校長を議長とした学科ごとの資格対策会議を適時行っている。令和6年度より、将来のDX人材を育成すべく、各学科・コースにおいてもITパスポート試験の取得を推奨している。

4.教育成果		達成度	前年度参考
評価項目	4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	不十分	普通
	4-19 資格取得率の向上が図られているか	達成	達成
	4-20 退学率の低減が図られているか	不十分	ほぼ達成
	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	達成	達成
4-18 キャリア支援センターを中心に担任と教科担当とが協力して就職率の向上に努めている。入学時から就活ガイダンス、内定者講話、適性検査、履歴書作成、面接指導、必要に応じて父母等との3者面談、個人指導などさまざまな指導を行っている。オンラインによる企業説明会や採用試験を行っている企業等については、オンラインを積極的に活用するよう努めた。令和7年度においても就活スタートイベント「就活キックオフ」を10月に実施した。社会人として必要な心構え、就活の現状と課題、各業界が求める人材等についての講話を行い、早期から就活活動に挑めるよう意識付けを行った。しかし、令和7年度（令和8年3月31日時点）での卒業者就職率は77.4%、（前年度87.4%）、求職者就職率は86.7%（前年度89.1%）、専門就職率75%（前年度90%）であり、前年度に及ばない結果であった。令和8年度は、校内における企業説明会等の積極的な実施と学生個別の就活指導に取り組み、とくに卒業者就職率の向上に努める。 4-19 学科コース毎に目標資格を定め、取得のために教科を編成している。必要に応じて授業外で対策授業を実施している。 4-20 指導対策会議を月1回開催し、対象学生の状況の報告、指導方針の決定、情報の共有を行い退学率の低減に努めている。また、日常においては担任が指導学生の状況を把握し、適切な対応をしている。また、父母等との連携は密に行っている。しかしながら、令和7年度の退学率は10.1%であり、前年度の8.5%に及ばない結果であった。令和7年度より退学率の低減策のひとつとして、新入生に対して行う入学時オリエンテーションを3日間（従来は1日）かけて実施し、教育方針や学校での生活を丁寧に説明したのち、授業を開始した。 4-21 令和7年度においても、キャリア支援センターにおいて、企業、医療機関担当者との面談の際に卒業生の活躍や評価についてある程度の状況を把握することができた。			

5.学生支援		達成度	前年度参考
評価項目	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能している	達成	達成
	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成	達成
	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能しているか	達成	達成
	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	達成	達成
	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	未達成	未達成
	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	普通	普通
	5-28 父母等と適切に連携しているか	達成	達成
	5-29 卒業生への支援体制はあるか	ほぼ達成	ほぼ達成
5-22 キャリア支援センターを中心に就職対策授業、個別指導、面接指導など就活に関する各種指導を実施している。また、求人票の教室内掲示や求人票閲覧システムで情報を開示している。さらに、就職対策会議を月1回開催し、情報の共有と指導方法の検討をしている。 5-23 クラス担任制をとっているため、最も身近にいる担任に相談をする体制がある。その後、必要に応じて係長、部長代理、部長が対応する。就職に関することは、キャリア支援センターが担当し、日ごろから学年担任とも情報を共有している。 5-24 入学時の学費免除制度や、交通費補助制度、下宿代補助制度を用意している。また、学業に影響ない範囲で掲示によるアルバイトの紹介をしている。 5-25 年1回、学生全員が健康診断を受診している。再検査の場合は必ず受診させて必要な治療をするように指示している。保健室を備え体調を崩した学生を休ませることができる。病状の緊急度に応じて、病院へ連れていくなどの体制がある。 5-26 課外活動は行っていない。 5-27 遠方から入学する学生は少なく、独自に学生寮をもつことはむずかしいが、希望により駅前の不動産屋の紹介や、賃貸住宅の情報提供等をし、支援している。「下宿代補助制度」がある。 5-28 父母等に対して、年度当初は年間行事予定表や時間割を、各学期の終了時は成績表、出欠席状況を郵送して、情報を提供している。また、出席不良等の学生は父母等と連絡をとりあい、適切な指導をしている。 5-29 卒業生に対して就活支援を実施している。本校の求人票の開示やキャリア支援センターによる個別相談をしている。引続き、現状等の把握に努め、フォローアップ体制の強化を図りたい。			
6.教育環境		達成度	前年度参考
評価項目	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備できているか	達成	達成
	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ達成	ほぼ達成
	6-32 防災に対する体制は整備されているか	達成	達成

6-30 パソコンは原則3年～4年サイクルで最新のソフトとハードに入れ替えている。教室は学校としてふさわしい大きさを確保し、机、ロッカーは一人1つを用意し、冷暖房完備、照明など十分な対応をしている。令和6年度においても、情報テクノロジー科の学生にノートパソコンを貸与し、自分専用として使用できる環境を整えた。第1Mac実習室（主にクリエイター科ならびにデザイン科が使用）のMacBook10台を増設した。 6-31 学外実習は一部の学科で実施している。医療事務科では2年次、3週間の病院実習を実施している。インターンシップは内定者に対して企業の要請に応じて行っている。海外研修は実施していない。 6-32 毎年1回、学生による避難訓練を実施している。また、火災、地震、竜巻等の災害時の避難経路を教室内に掲示し、さらに印刷物を学生に配布して担任が説明を行い、徹底を図っている。また、本校近隣及び通学経路の防災関連施設とハザードマップに基づく危険区域を教職員で共有している。			
7.学生の募集と受け入れ		達成度	前年度参考
評価項目	7-33 学生募集活動は、適正に行われているか	達成	達成
	7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	達成	達成
	7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	達成	達成
	7-36 学納金は妥当なものとなっているか	達成	達成
7-33 「高校ガイダンス」「会場ガイダンス」「体験入学」「個別学校見学」「学校説明会」「スプリングフェスタ」「サマーフェスタ」などの入学者向け各種イベントを用意し、入学者が知りたい情報を的確に提供している。また、「学校案内」「募集要項」「ホームページ」等を作成し提供している。 7-34 資格取得、就職のことなど、「学校案内」「ホームページ」に掲載していると同時に、オープンキャンパス時の質問に的確に回答している。「学校案内」「ホームページ」を新たにし、情報を見やすく提供できるようにした。 7-35 入学選考は募集要項に記載している選考基準に基づき公正に行われている。 7-36 学納金は入学者の経済的負担を軽減するため適正に設定し、さらに各種学費免除制度を設けている。学費以外で必要な経費は「教科書・教材費」、「各種資格の検定料金」のみである。			
8.財務		達成度	前年度参考
評価項目	8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	達成	達成
	8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	達成	達成
	8-39 財務について会計監査が適正に行われているか	達成	達成
	8-40 財務情報公開の体制整備はできているか	達成	達成
8-37 借入れはなく、今後も安定した事業収支差額が計上できると考えている。 8-38 毎年、入学者数と過去の実績を考慮して予算・収支計画を作成し、理事会、評議員会で承認を得ている。 8-39 会計監査は毎年適正に実施し、評議員会、理事会に報告している。 8-40 財務情報公開の体制整備はできており、ホームページに公開している。			
9.法令等の遵守		達成度	前年度参考

評価項目	9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	達成	達成
	9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	達成	達成
	9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	達成	達成
	9-44 自己点検・自己評価の結果を公開しているか	達成	達成
9-41 法令や設置基準を遵守している。また、適時、朝会や職員会議で徹底している。 9-42 個人情報保護方針を策定している。また、朝会や職員会議において、適時、個人情報の取り扱いについて徹底をしている。 9-43 自己点検・自己評価を定期的に実施していく。その結果、問題点があれば改善に努める。また、学校関係者評価を年度内で1回実施する。 9-44 ホームページで公開している。			
10.社会貢献		達成度	前年度参考
評価項目	10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	不十分	不十分
	10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	普通	普通
10-45 大田原市立中学校の第1学年「さいたま自主研修」として、生徒の訪問を受け入れた。本校がどのような高等教育機関であるかを周知するよい機会になった。休日はオープンキャンパス等でほとんど使っているため施設等を開放するのは難しいが、機会があれば提供したい。 10-46 学生のボランティア活動の奨励や支援のため、学校に届いたボランティア募集などの掲示を積極的に行っている。			

達成度：達成、ほぼ達成、普通、不十分、未達成の5段階で評価しています。